

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議
					子どもセンター 建設水道課 子育て支援班

別記様式第4号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 — 打合せ — 協 議	文書番号	上富子育第 1290 号
		決裁期日	令和 4 年 1 月 25 日
名 称	第 6 回上富良野町新子どもセンター建設検討委員会		
日 時	令和 4 年 1 月 14 日 (金) 10:00 ~ 11:30		
場 所	保健福祉総合センター 2 階 研修室		
出 席 者	別紙名簿のとおり (委員 10 名、事務局 4 名)、建築設計事務所 4 名 各事務担当者 (主査 3 名) 計 20 名		
内 容	<p>開会</p> <p>1. 座長挨拶 新年を迎えてまた新型コロナウイルスが蔓延してるようで、特に成人式を迎えた世代が大勢の飲食を伴う会食やカラオケ等で感染拡大が見られているようである。3 回目のワクチン接種を受けるなどして引き続き感染予防に努めていく。 新こどもセンターの建設検討についても皆様の希望に沿って、施設が使いやすく、費用的にも負担がない形になるように本年も検討を行っていきたいと思う。</p> <p>2. 議題 (進行: 座長) (1) 基本設計について ①第 5 回建設検討委員会質疑応答 資料 1 に基づき、事務局より説明。委員からの意見等なし。 ②平面計画案 (No. 4) について ③パースについて 資料 2、3 に基づき、事務局より説明。 質疑応答 委員 5 丁目通り側の非常口の確保ということで設計変更していただいているが、少しイメージがつかめないのもう少し分かるようにご説明お願いしたい。</p>		

内 容

事務局 建物いっぱいまで扉があるのではなく、建物より少し内側に扉をつけ、そこから階段で下がっていくイメージである。階段の最後が建物の端というような形になっており、冬期間においては階段を下りてからの部分を除雪する。

委員 前回この非常口について指摘したのは、除雪をしていないと逃げられないという形で、この部分だけをどのように除雪しようと考えているのか。階段かどうかの問題ではないというのが一つと、5丁目側は高くなっている。外に出たら段差を飛び降りてくださいというような考え方の非常口でよろしいか。

事務局 この階段はのり面の高いところを降りるためのものと考えている。

委員 歩道側はどこになるのか。

事務局 歩道側は平面計画案の道路境界線下の白い部分になる。

委員 まずこのスペース（白い部分）の除雪はどうするか教えていただきたい。

事務局 歩道の除雪は道路管理の方で除雪するかと思うが、そこから非常口までの除雪は子どもセンター側とするような形になる。

委員 記憶違いであれば迷惑かけるが、ここの土地は5丁目側も道路の歩道から1mぐらい高くなっていなかったか。建物が建った時にその高さがあるのではないか。

事務局 こののり面も削るといふか、高さを降りるための階段である。

委員 しかし、施設がギリギリまで来ていて緑の部分から白い部分に向けてこの部分だけその高さを削って歩道と階段になっている設定ということか。

事務局 その通り。

委員 この白い部分については緑の部分と違って歩道と同じ高さであり、緑の部分は肩ぐらいまでの高さの石垣が繋がって残っているという考え方でよろしいか。

事務局 そのように考えている。

建物全体は確かに土地が高いので、その高いところに建物が建つ。内部の廊下から下へ向かっていくと扉があり、それを開けるとすぐ階段がある。階段を下りたところから図面の白い正方形の部分の向こうにも行けるようになっている。その最後の緑の部分は土を

内 容	<p>盛った斜面になっているので、実際は緑と白い部分の間には斜面から土がこぼれないように、コンクリートの壁を作る形になると考えている。</p> <p>委員 納得した。了解である。</p> <p>委員 今のところで、ここの緑の部分に屋根の雪が落ちてくると、この隙間が短いように思うが、そのあたりは大丈夫か。</p> <p>事務局 建物は無落雪で落雪しないような構造で作る。非常口については施設管理の職員が除雪する。</p> <p>委員 図面で拝見すると平面なので落ちないとは思いますが、雪の多い状況でここに雪が吹きだまり、何か障害が起こるということはないか。</p> <p>事務局 雪庇止めを付けるなどの対策は出来るかと思う。</p> <p>委員 屋根が伸びて下に落ちないとかいう形であれば大丈夫なかと思う。札幌も今かなり歩道は雪の壁がものすごい高さとなって全然見えない状況であるが、そういうことを想定するとこの隙間のところに雪が積もって避難通路の辺りまで雪が落ちてきたりしないか。</p> <p>委員 上富良野小学校も同じような無落雪で、雪庇は年間を通して一定程度できる。ただ、それほど大きくならないということと、うちも高さがないので、ここも同じ所に1階部分の雪庇が気になるところだと思うので、年に1、2度担当者が雪庇を落とすだけで上小のことを考えれば回避は十分可能だと思うし、幅2mあり、大量に雪庇ができて落ちてくるわけではないので、対応は通常でも可能かという感覚で見ている。</p> <p>④構造種別の比較検討について</p> <p>資料4に基づき、事務局より説明。</p> <p>質疑応答</p> <p>委員 私も見er限りは鉄骨造りがなんとなく良いかなという素人感覚ではあるが、気になるのが漏水対策や防錆対策が慎重に検討する必要があると書いてあり、これについてどのような検討をするのか教えていただきたい。</p> <p>設計事務所 漏水対策と防錆対策について慎重に検討するというところで漏水に関しては、鉄骨造なので構造的にコンクリート造よりも揺れる。その時に生じる外部躯体の仕上げが躯体を追随しないために出てくる支障がロスに繋がるが多々あるので、そこを重点的に考えておさまりを検討していくことになるかと思</p>
-----	--

内 容	<p>う。防錆対策に関しては、鉄骨造ということなので水に対しては少し弱い面がある。例えば、鉄骨に塗装するとか亜鉛メッキで表面を錆から防ぐという対策もあるので、そうして躯体を守っていくという方法もある。グレードがあるので、金額との兼ね合いでどうするかという検討をしていくことになると思う。</p> <p>委員 漏水対策については理解した。上富良野町も地震で揺れる町であるかと思う。その辺りを建築の方で、「この方法であればうちの町の標準的な揺れであれば対応できるだろう」と考えるのであれば納得かと思う。</p> <p>防錆対策について、これは対策を講じた上でのコストが鉄骨と鉄筋とが同じということで考えてよろしいか。</p> <p>事務局 コストに関しては、ここで表現している数値において全体的には変わらないという考えで構わないと思う。防錆については、一部外に鉄骨の柱が出るところがあり、その部分だけを亜鉛メッキまたは防錆の強いもので対策を一部行うだけで残りは全て内部になるので問題はないかと思う。</p> <p>今後、鉄骨造りで検討を進めていくということを全体で確認した。</p> <p>⑤冷暖房種別の比較検討について</p> <p>資料5に基づき、事務局より説明。</p> <p>質疑応答</p> <p>委員 暖房を入れた時の面積が色付けされており、A B C E案とD案とで授乳室に暖房が入ってるのと入ってない違いがある。授乳室は暖房が効いて温かい方が、おそらくお母さんが赤ちゃんと長い時間を過ごしやすいのではないかとは思った。D案の方は全体的に見て、お母さんが子どもを過ごす部屋等、全体が温かいということが確保されている。</p> <p>事務局 授乳室の床暖房については、A B C E案についても入れることは可能で、授乳室なので入れていく形になるかと思う。</p> <p>設備業者 A B C E案で授乳室の床暖を抜いたのは、天井面や壁に違う暖房器を設置するためである。子どもたちが歩く、座ったりするところをメインに床暖は入れようと考えている。</p> <p>委員 授乳室はどのような仕様になるか。</p> <p>事務局 授乳室にはベッドと椅子を設置する予定である。</p>
-----	--

内 容

委員 ランニングコストの中で「更新」というのは、何を想定しているのかを教えてください。

設計事務所 A案については機器の更新がある。ただし、大きなボイラーなどは30年での更新はない。細かい部品等の小さな部分の更新になっている。家庭用のボイラーを設置するので、これについては壊れやすいので機器や配管の周りのバルブ関係の更新を見ている。室外機はおそらく30年はもたないと思うので2台分の更新を考えている。

D案については、特に故障するものはないが、板の中に細かな機器があるのでその辺が壊れるのではないかという想定をしている。

E案以外についてはFF暖房機の更新をみている。

委員 環境省や道のCO2対策が主かと思うが、補助金を受けられるのはA案のみということでしょうか。

事務局 脱炭素ということで環境省から補助金が出るのはA案のみとなっている。

委員 検討する上でA案を採用するならば、自家発電も想定して作っていくと。BCD案を検討するときには自家発電を設置しないで建設することも可能と考えてよろしいか。

事務局 自家発電機については環境省の補助金等をいただく際には自家発電機の設置が必要になってくる。また、その自家発電機に対しても補助があることになる。A案ですと自家発電機を付けるということが前提になるかと思う。他の案であれば、自家発電機はつけないと考えている。

委員 両方の資料を出してもらったからこそだが、もう一つ自家発電をつけたA案と自家発電をつけないBCD案の1枚ものの比較表があると一番すっきりするのではないかと思う。

根本的な話だが設定温度条件等を含めて何か比較しなくてはならないので、きちんと資料を作って出してもらったり、ランニングコストを記載した表を作っていただいたりしたことに大変ご苦労かけた中で大変感謝申し上げます。とても分かりやすいと思う。ただ、行政だなと思ってしまうのが事務室や指導室等の温度設定について本当に22度で運転するのか。冷房を28度で運転するのか。確かに推奨はその通りだと思うが、現場では違うと思う。どうせするのであれば、その辺り思い切って数字を出してもらった方が良かったのではないか。運動運転稼働率開ける日に0.6という算出で気持ち分かるけれども、B案以外は温まるのに時間がかかるので土日止めました、月曜日朝入れますでは絶対館内が温まらないので、現実論としては、温度設定を落としてでも24時間稼働の方が効率

内 容	<p>的に建物を使ってると思う。そういうことを意識してないというか、何か基準が必要だからこれで十分比較はできるが、どうせ作るならそういったこともきちんと想定したもので出してくれた方がより良かったと思う。</p> <p>その中でD案の土壤蓄熱暖房方式を使ってるところの先例があれば分かる範囲で教えていただきたい。</p> <p>事務局 土壤蓄熱方式は上川管内でも使っている施設がある。当麻町の子どもセンターや美深町、剣淵町の施設、富良野市、美瑛町の図書館で使っており、その中で当麻町と美深町にお電話で確認させていただいたところ、当麻町から土壤蓄熱方式は電気代がとてめにかかるということで、聞いた話をそのままお伝えすると提案の3倍くらい電気代がかかっているとのことであった。また、土壤蓄熱の下からの熱だけで上からの温風等がないため体感温度が低いということは聞いている。体感が20度くらいということと、施設の増築した部分についてはFF暖房にしたと聞いている。</p> <p>美深町からは施設が1,300㎡で上富良野町の新子どもセンターと同じくらいの規模であり、そちらの電気料金が節約しても年間700万円以上になる。体感も寒いという話も聞いている。</p> <p>美瑛町の図書館も導入したが下からの熱だけなので、体感が寒いということと電気代が気になるということであった。</p> <p>しかし、上川町に確認したところ、上川町がこれから施設を建てるにあたって、バイオマスや太陽光と比較した中で土壤蓄熱にしていくという方向性であった。土壤蓄熱は電気代がかかるが、現在の施設も電気代が多くかかっているため、比較検討したところ高は感じていないということであった。</p> <p>剣淵町には直接確認はしていないが、土壤蓄熱の床暖で床は温かいと聞いている。</p> <p>富良野市の保育園も導入しているということで、そちらへは視察しお話を聞いてみようと考えているが、コロナ禍で受入が難しい場合は電話等で現状を確認したい。</p> <p>委員 現状の説明いただきありがたい。改めて検討したい。</p> <p>C O 2 の負荷の発生ということで比較が出ているのは、この建物としてのC O 2 ということでその通りだと思うが、電気がC O 2 を発生していないのかということ、それはまた別の問題で、この比較においてうちは電気を使ってるからC O 2 はゼロであるという算出の仕方であるかと思う。電気はこの建物から出して扱っているけど、この建物としてのC O 2 の排出もケースには入っていないか。</p> <p>設計事務所 発電するところでC O 2 が増える。</p> <p>委員 これは火力発電の電力を使っているため、そこでC O 2 を出しているということを含んで計算しているということか。</p>
-----	--

内 容	<p>設計事務所 その通り。</p> <p>委員 耐用年数の問題について、それぞれのメーカーで色々言ってくると思うが、法定耐用年数が15年であることから、15年経過以降については故障しても問題がないというか、機械だから壊れる可能性は当然あると考えて良いかと思う。ただし、30年でトータルコストを考える際に、最悪の場合は物自体をもう1度入れ替えるということになっても文句は言えないということになるかと思う。そのように考えると、更新の経費で見てもらっていて現実として丸々機械の入れ替えとことにはなりづらいと思うが、高いものを使えば当然部品修理等が高くつくのは当たり前で、それこそ一番心配するのは、A案の単価が高すぎるということである。補助を受けている時は良いが、修理交換になると補助を受けずに、高額な部品を入れ替えるということで、本当に更新保守の費用がこれで済むのかというと、現実には別かなという中で、本体が高価格だということが長く使い、維持交換していく中で想定以上に費用がかかるのではないかと想定している。</p> <p>設計事務所 仰る通りだが、メーカーとしては部品だけで大丈夫だろうということである。ただし、A案については本当に物自体すごく高い。もしかすると使ってるうちに15年、20年で機器の本体については何百万かかってくるが、想定外の金額がかかる可能性はある。その他については、ほとんどの更新を見ているところである。</p> <p>事務局 A案については導入してる施設も結構あるかと思われるので、施工している業者に確認をして、10年15年で何百万円単位のコストかかるのであれば、比較表に付記書きなどもしていただき情報を教えていただくと助かる。</p> <p>D案についても質問いただき説明させていただいたところだが、理事者とも打ち合わせをした際に圧倒的にこれだっていうのはなく、大変悩ましい案件となっている。そのため町としても少し時間進めていきたいと考えている。温度設定の関係等は、国または道が推奨しているもので基本的には作らなくてはならないが、委員からの質問でもあったように実際はどうかかというところはあるかと思う。町も導入している施設に事情を聞きいてはいるが、感覚的な意見であるため資料としてお示ししていない。数字で出てくるものは資料化してお示ししたいのだが、職員に聞き取りして寒いと感じる人と温かいと思う人と皆さん千差万別である。本当に使っている人たちがどう思っているかというのは、何度で設定してたのに、何度に上げないと駄目だという科学的根拠を確認するよう職員に指示している。基本的なところはこのような形だが、業者の声も聞いて議論を深めていきたいと思っている。次回までにその辺りをお示しできるよう検討していきたいと思う。特に子どもの施設でもあるので、高田幼稚園では床暖と補助暖房を使って機能しているという話もお聞きしたところで、冷暖房の関係で今の園の状況も教えて</p>
-----	---

内 容	<p>いただければと思う。</p>
	<p>委員 増築した部分についてはB案で稼働している。元々あった施設については防衛施設局からの補助をいただいているのでポンプのボイラーを稼働させている。当初増築する際にA案を当然うちも検討をして、これをやりたいというところで議論をしたが、やはりコスト的な部分、いくら補助もらってもその後の更新等をしていく時にどうだろうかということも問題で、法人なので厳しいところもあり、借り入れをして補助もいただいたがB案となった。この施設もどの案にしても温かい、寒いということはある、その時の設定にもよるかと思う。どれが一番というのはないかと思う。それぞれのご意見を聞いた中で、最終的に決定していただければと思う。施設の利用価値も含めて。うちは当然未満児も利用されており床暖を入れている。ただ、大人は立っているからだけ寒いが、子どもは動き回っていて暑く感じているので、基本的には温度設定も子どものために実は少し下げているということもある。先日のような寒い日には少し温度上げるけど、そのようにコントロールしながらやっている。パネルヒーターだと逆に火傷の可能性も出てくる。この図面においても用途によって各室でコントロールできるようにするのが望ましいが、熱源をどれにするかというのは本当に難しい。理事者と決めていただければと思う。</p>
	<p>委員 上小も地中熱ヒートポンプ使っている。ボイラーの方は7年使って順調に動いているが、管理集中システムが今のICTでパソコンと同じような形の使い勝手なので、その辺がもたない感じである。タブレットのようなパネルを今年交換して50万円。それと運転している心臓部が故障していてタイマー機能が効かなくなっている。全てが手動で修理するのに100万円、交換で150万円と言われているので、単純に更新保守費の年間予定額は超えてくるかと思う。ただし、うちは7年もったがICT系は5年が基本だと思う。パソコン等のメーカーも5年ぐらいで更新を考えていると思うので、6、7年もよく持ったなとも言えるかもしれないし、修理交換は高い。</p> <p>C案とD案は床暖である。床暖房範囲は先ほど12室出ていたが、洗濯・物干しスペースにも欲しいのか欲しくないのか、使ってる方に意見を聞いて欲しい。</p> <p>子どもセンター側のカウンター、ベビーベッド、下足スペースが床暖の範囲となっていない。欲を言えば、風除室に床暖が入ると冬場において雪がついて入ってくるのは当然なので、風除室に床暖が入るとすごく便利快適だと思うので、検討していただければと思う。</p>
	<p>事務局 本日の会議以後に「これはどうなんだろう」と思うことがあれば、ぜひ次回開始までに事務局の方にお寄せいただきたい。設計業者の協力もいただき何とか26日には最終的に町の方向性も皆様に方向性は提案したいと考えているのでご協力いただきたい。</p>

内 容	<p>(2) その他</p> <p>質疑応答</p> <p>委員 授乳室について、今の子どもセンターやかみんのプレイルームにおいて遊ぶスペースにカーテンをして授乳できるスペースがあるが、新しい施設では全く別のスペースを取っていただき、ゆっくり赤ちゃんに授乳できるのはとても良いと思が、兄弟を連れてる時には、そのような遊べるスペースがあると楽に感じるお母さんがいるのではないかと少し思ったところである。</p> <p>3. その他</p> <p>(1) 次回会議開催予定等</p> <p>次回は1月26日水曜日10時から同会場で開催し、町の方向性等について委員にお示しさせていただく。</p>
-----	---